

# 5-1 学校教育の充実

## ■ 施策のめざす姿

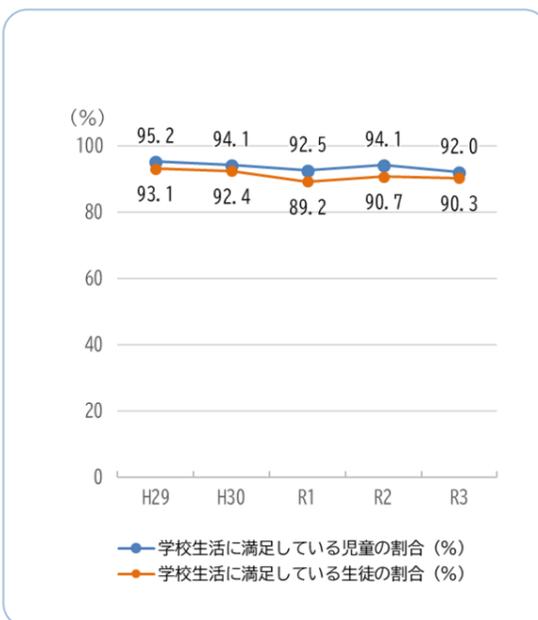
学校生活に満足している児童生徒が増加します。

## ■ 施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
学校生活に満足している児童の割合	92.0%	95.0%	児童・生徒の学校生活に対するニーズに応じた、きめ細やかな指導を行うことで満足度の向上を目指します。
学校生活に満足している生徒の割合	90.3%	95.0%	

## ■ 施策の基本方針（環境変化と課題）

- ▶ 児童・生徒数は今後も減少が見込まれます。「山武市立小中学校の規模の適正化・適正配置基本計画」に基づき、小学校の複式学級及び中学校の単学級の解消を図ります。
- ▶ 近年の教育課題として、経済格差から子どもの学ぶ意欲や学力の低下、規範意識や倫理観の欠如等、社会を構成する一員としての責任の自覚や正義感の乏しさ等が懸念されています。
- ▶ 確かな学力の向上を図るため、個に応じた少人数指導の充実による指導方法の工夫改善に取り組みます。
- ▶ 児童・生徒一人ひとりのニーズに対応するために、支援員の配置等の人的支援を含めた具体的な対応策を講じます。
- ▶ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業においてICT機器の有効活用に取り組みます。
- ▶ 社会全体で子どもたちを守り育てるため、学校・家庭・地域が協働できる体制づくりを推進します。



## SDGs との関連性



## ■ 基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性	
1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	学年相応の学力が定着しています。	学力の定着が見られる児童の割合	62.0%	63.0%	少人数指導の充実など指導方法の工夫改善により、学力の向上を目指します。	
		学力の定着が見られる生徒の割合	55.3%	56.3%		
		中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	46.4%	50.0%		各中学校での英語検定対策を通じて、中学3年生の3級以上の取得を目指します。
2 「健やかな体」の育成	健康な体がつくれます。	生活習慣の改善に努めた生徒の割合	15.9%	30.0%	健康診断で要指導等と判定された生徒に対し、改善を促すことで、健康な体づくりの向上を目指します。	
		朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	81.1%	85.0%		食育の推進に努め、家庭と連携し、朝食の摂取率の向上を目指します。
3 「豊かな心」を育む	自ら律しつつ、相手を思いやる心を持ち、豊かな人間性と社会性が育まれています。	不登校児童の割合	1.38%	1.38%	魅力ある学校づくりに努めることで、不登校児童・生徒の出現率の減少を目指します。	
		不登校生徒の割合	4.32%	4.32%		
		道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	92.3%	97.0%		道徳教育の充実を図り、道徳性・規律性の意識の向上を目指します。
4 ICT教育の実践	ICT教育の実践や情報化に取り組むことで、教育の質が向上します。	ICT機器端末（タブレット等）が授業で有効に活用されていると思う児童（高学年）の割合	69.0%	80.0%	授業へのICT機器の有効活用に取り組み、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。	
		ICT機器端末（タブレット等）が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合	61.2%	72.0%		
		授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	64.0%	74.0%		ICT支援員による研修実施など、各学校での取組を継続することで、成果向上を目指します。
5 重点 教育環境の整備	豊かな学校生活を送るための安全・安心な教育環境・施設になっています。	学校施設の不具合による学校生活支障件数	0件	0件	早期に施設等の不具合に修繕等を行うことで、学校生活の支障件数0を目指します。	
		安全な給食を確実に提供できなかった件数	0件	0件		早期に施設等の不具合に修繕等を行うことで、安全な給食を確実に提供することを目指します。
		複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	1校	0校		児童・生徒の減少に対応した教育環境の整備を行うことで、成果の向上を目指します。
6 地域と学校の協体制の推進	地域の人材力を活用し、学校と地域の協働で子どもたちを育みます。	学校教育活動に協力した市民数	153人	153人	教育活動の充実を図るために、地域ボランティアとの協体制の推進を目指します。	
		学校支援活動に協力した市民数	229人	229人		通学路の安全管理等を目的に、地域ボランティアとの協体制の推進を目指します。

### 用語解説

複式学級	2つ以上の学年を1つのクラスに編成する学級のことです。
単学級	1学年1クラスの小規模な学校のことです。

## 5-2 生涯学習の推進

### ■ 施策のめざす姿

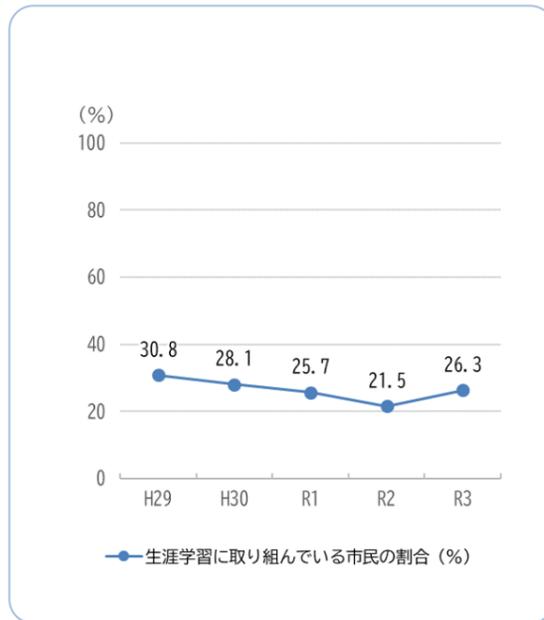
生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

### ■ 施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
生涯学習に取り組んでいる市民の割合	26.9%	33.0%	施設的环境整備や様々な講座等の開設を行い、生涯学習に取り組む市民の増加を目指します。

### ■ 施策の基本方針（環境変化と課題）

- 生涯学習の推進については、学習施設的环境整備や世代に沿った自主事業及び講座等のニーズを取り入れ、市民の学習意欲の向上を図ります。
- 施設利用者の高齢化・固定化が進むなか、市民誰もが参加しやすい学習及び文化事業を推進します。また、各施設については、公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化等に対する適正配置や維持管理を行います。
- 市内には国が指定する2件の文化財のほか、県12件及び市90件の指定文化財があり、これらを周知・活用した学習機会を増やし、郷土愛の醸成につなげます。
- 芸術文化に対する市民の関心と活動への参加意欲を高めるとともに、郷土芸能活動をはじめ、伝統文化等の継承及び保存活動に取り組んでいきます。
- 青少年の育成については、急速に進むグローバル化に対応するため、海外交流を通して多文化を学び理解することで、国際競争力を身につけ、広い視野を持つ人材の育成を行います。



## SDGs との 関連性



### ■ 基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 主体的な学習の推進	自主的・創造的な学習意欲が高まり、主体的な学習活動が活発化しています。	市主催の生涯学習講座の年間参加者数	1,142人	3,000人	多様化している学習ニーズに対応した講座等の充実を図り、参加者数の増加を目指します。
		自主クラブ登録数	111グループ	111グループ	高齢化により減少傾向のため、新たな講座の開設などにより、団体数の維持を目指します。
2 生涯学習施設の利用促進	生涯学習施設が適正化され、多くの市民に利用されています。	生涯学習施設の利用者数	121,277人	122,000人	適切な施設管理や、年齢層や施設に応じたプログラムを提供し、利用者数の増加を目指します。
		この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	6.3%	7.1%	蔵書やサービス内容の見直しを行い、利用者数の増加を目指します。
		公共施設維持管理費（生涯学習施設分）	9,515万円	35,121万円	公共施設の維持管理経費は増加傾向にあるため、効率化による経費の縮減を目指します。
3 文化財の保護・活用	文化財の活用により、市民の文化財への関心が高まり、文化財が保護、継承されます。	市民が認識している市内文化財数（全8項目）	3.42項目	4.0項目	歴史講座等を開催し、文化財の周知を図り、認知度向上を目指します。
		文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	5,302人	5,400人	文化財・歴史資料の展示等への工夫や体験事業の充実を図り、利用者数の増加を目指します。
4 芸術文化活動の充実	・芸術文化の鑑賞・活動・発表等を通じて、芸術文化に親しみ心豊かな潤いのある生活を送っています。 ・芸術文化活動に参加できる体制が整っています。	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合	65.2%	65.2%	市民のニーズを捉えた事業を実施し、身近な芸術鑑賞の場としての認知度向上を目指します。
		市主催の芸術文化事業への参加者数	2,602人	2,602人	市民参加型の芸術文化事業の開催などにより、参加者の増加を目指します。
		芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合	28.5%	35.0%	主催・共催事業等を通じて、芸術文化活動・発表等の機会の充実を図り、成果向上を目指します。
5 青少年の育成	健全に育成され、さまざまな体験をして見聞を広めます。	青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	856人	2,553人	各種青少年関係団体の事業を支援し、児童・生徒の参加者数増加を目指します。

#### 用語解説

生涯学習

人々が生涯に行うあらゆる学習のことです。ここでは、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、趣味など様々な場や機会において行う学習を指します。

## 5-3 スポーツの振興

### ■ 施策のめざす姿

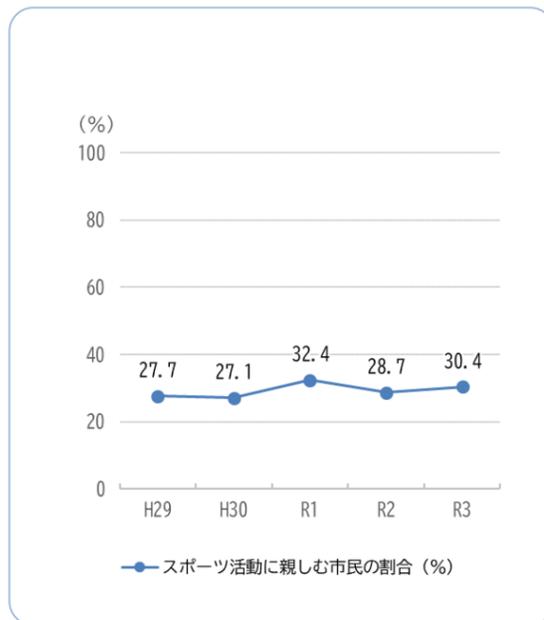
継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

### ■ 施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
スポーツ活動に親しむ市民の割合	28.0%	32.4%	スポーツイベントや教室等を通じ、幅広い年齢の市民の健康意識の向上を目指します。

### ■ 施策の基本方針（環境変化と課題）

- ▶ 新型コロナウイルス感染対策による施設利用の制限や大会の中止、市民の自主的な活動制限などにより、運動の機会が減少しています。
- ▶ 市ホームページを活用した各団体による活動内容のPRや、スポーツツーリズムと連動した市民参加型の魅力的なスポーツイベントの開催など、運動意欲を高める機会や環境づくりに取り組みます。
- ▶ 専門的な知識や技術を有する指導者を育成し、スポーツ活動へ参加機会の充実を図り、参加者が減少傾向にあるスポーツ少年団等への加入を促進します。
- ▶ スポーツ施設の管理については、公共施設総合管理計画に基づき、施設の適正な管理を行い、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図ります。



### SDGsとの関連性



### ■ 基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 スポーツ活動の充実	スポーツ活動に参加する機会が増え、より多くの市民がスポーツに親しむことができます。	スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	5.4%	10.1%	スポーツ大会や教室等の開催情報を積極的に発信し、参加者数の増加を目指します。
		スポーツ大会・教室の機会の充足度	66.8%	69.0%	誰もが参加しやすいイベントの実施により、参加機会の増加を目指します。
2 体育関係団体・指導者の育成	体育関係団体・指導者が育成され、地域でのスポーツ活動が活発になります。	スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）	48 団体	50 団体	スポーツ団体の活動を支援することで、市内のスポーツ環境の改善を目指します。
		体育関係団体の指導者数	76 人	135 人	減少傾向にある指導者等の育成を支援し、スポーツ環境の改善を目指します。
3 体育施設の利用促進	体育施設が適正化され、快適に利用することができます。	体育施設の利用者数	71,523 人	124,000 人	施設利用者の利便性向上を図り、利用者数の増加を目指します。
		公共施設維持管理費（社会体育施設分）	6,342 万円	12,279 万円	公共施設の維持管理経費は増加傾向にあるため、効率化による経費の縮減を目指します。

#### 用語解説

スポーツツーリズム	スポーツを「観る（観戦）」「する（楽しむ）」ための移動だけでなく、周辺の観光要素や、スポーツを「支える」人々との交流や地域連携も付加した旅行スタイルのことです。
総合型地域スポーツクラブ	人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者、初心者からトップレベルまで参加できる特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのことです。

## 5-4 人権尊重のまちづくり

### ■ 施策のめざす姿

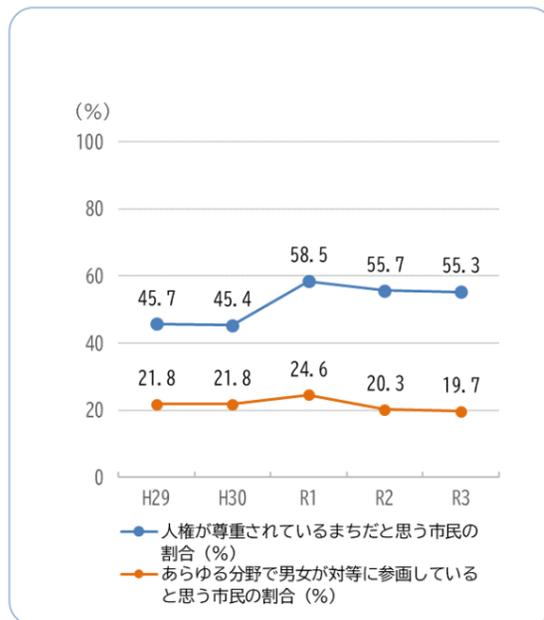
- ・誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。
- ・あらゆる分野で男女が対等に参画している社会になっています。

### ■ 施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合	56.6%	56.6%	人権に係る相談及び啓発等を通じて、現状の維持を目指します。
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合	19.5%	25.0%	男女共同参画に関する意識醸成を図ることで、成果向上を目指します。

### ■ 施策の基本方針（環境変化と課題）

- 「人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合」は、令和元年度に10ポイント以上向上したものの、その後は横ばいです。
- LGBT、外国人または感染症に関する人権等、配慮すべき多様な人権ニーズが生じています。これらの多様な人権ニーズへの期待に応えられるよう人権教育及び啓発活動を推進します。
- 市民が抱える様々な人権問題に、解決の糸口を見いだせるよう人権相談窓口を開設します。
- 「あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合」は前総合計画期間においても低位で推移しており、本市の男女共同参画を推進していくうえで順調とはいえないう状況にあります。令和5年度策定予定の「第4次山武市男女共同参画計画」においては、より本市の実情に則した計画を策定し、効果的に施策を推進していきます。



### SDGsとの関連性



### ■ 基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 人権教育・人権啓発の推進	多様な人権を尊重し、人権を侵害してはいけないことを学んでいます。	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	25.1%	25.0%	人権に係る教育・啓発活動を実施し、現状の維持を目指します。
		この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	8.9%	8.0%	啓発活動を行い、人権侵害につながる言動等を、現状以下に抑制することを目指します。
2 人権擁護の推進	多様な人権を侵害する虐待、暴力、差別及び偏見がなくなります。	人権侵害に対する措置件数	808件	800件	啓発活動を行い、人権侵害に対する措置件数を現状以下に抑制することを目指します。
3 男女共同参画の推進	男女共同参画意識が定着します。	審議会などに女性委員が登用されている割合	25.7%	40.0%	男女共同参画の更なる推進により、全国的な目標値である40.0%を目指します。
		「男は外で働き、女は家庭を守る」という考えではない人の割合	81.8%	87.0%	市民の意識は変わりつつありますが、さらに意識改革を図り、男女共同参画の推進を目指します。
		男性が家事・育児に積極的に参加している割合	37.4%	45.0%	男女間の意識差の解消のため、男性の家事・育児への参加割合の向上を目指します。

### 用語解説

LGBT 性的少数者の総称として使用されている言葉です。